様式1

倫理審査申請書

202
2022年12月14日提出
年受付番号 205-221214

熊本リハビリテーション病院
倫理委員会委員長　様

代表申請者
所属：サルコペニア・低栄養研究センター
職名：医師
氏名：吉村芳弘　印

所属長の印　吉村芳弘　印

下記の研究について倫理審査を申請します。

研究課題名：サルコペニアを有する脳卒中回復期高齢患者の入院中のポリファーマシーの減薬は退院時の栄養摂取量増加や、握力および骨格筋量増加と関連するか

共同研究者名	所属	職名
小瀬　英司	帝京大学医学部附属病院　薬剤部	薬剤師
松本　彩加	熊本リハビリテーション病院　薬剤部	薬剤師
他7名		

概要（具体的に記載すること）

①審査対象（いずれかに○を）1．研究計画書　2．学会発表原稿　3．出版原稿　4．その他（　　）

②研究の背景と目的
高齢者におけるポリファーマシーの弊害が注目されているが、臨床栄養およびリハビリテーション医学におけるエビデンスは乏しい。さらに、サルコペニア患者におけるエビデンスはほとんどない。本研究の目的は、サルコペニアを有する脳卒中回復期高齢患者の入院中のポリファーマシー（5剤以上）の服用数減少と退院時の日常生活動作および自宅退院復帰率との関連を精査することである。

③対象及び方法
研究デザインは後ろ向きコホート研究。対象は当院回復期リハビリテーション病棟に対象期間中に入院したサルコペニアを合併した65歳以上の高齢患者のうち入院時にポリファーマシー（5剤以上）を認めた患者。入院中の服薬数の減少と退院時のFunctional Independence Measure運動項目および自宅退院率との関連を交絡因子を調子した多変量解析を用いて検証する。

④実施場所及び実施機関
熊本リハビリテーション病院サルコペニア・低栄養研究センター
研究内容は当院ホームページに公開

⑤データ収集期間
2016年1月　～　2021年12月　（データベースを用いた後ろ向きコホート研究）

⑥研究における倫理的配慮について（Ⅰ～Ⅲは必ず記載のこと）
Ⅰ　研究等の対象とする個人の人権擁護　（　問題なし　）
Ⅱ　研究等の対象とする者に理解を求め同意を得る方法　（　ホームページ等掲載のオプトアウト方式　）
Ⅲ　研究等によって生ずる個人への不利益並びに危険性　（　なし　）
Ⅳ　研究等によって生ずる医学上の貢献の予測　（　あり　）
Ⅴ　その他　（　　）